

技能・技術優秀士 推 せ ん 調 書 (記載例)

要件		①年齢40歳以上の人 ②同一職業に技能・技術職として20年以上従事している人、または全国規模の技能・技術競技会等で優秀な成績を残した人 ③優れた技能・技術を有し、さらに技能・技術の研究に精励するとともに、後進の指導育成に寄与した人		職 種 名							
				○○技師 (※原則、「久留米市技能・技術奨励者の候補者推薦基準別紙の別表」に記載されている職種をご記入ください。)							
ふりがな		くるめ はなこ		職 歴		在 職 期 間		在 職 年 月 数		合 計 在 職 年 月 数	
氏 名		久留米 花子		株式会社○○ ○○株式会社		平成15年 4月 1日 平成25年 4月 1日		10年 0月 13年 0月		23年0月	
生 年 月 日		(4月1日現在の満年齢) 昭和56年11月21日生 (45歳)									
性 別		男 ・ ②女									
現住所		〒○○○-○○○○ 久留米市○○町○-○ TEL:0942-○○-○○○○									
就 業 先	名 称	○○株式会社 企業全体の従業員数:○○人									
		代表者 ○○ ○○									
	所 在 地	〒○○○-○○○○ 久留米市○○町○-○ TEL:0943-○○-○○○○ FAX:0943-○○-○○○○									
在職年月数は月単位で記入すること。また、現職については、表彰のおこなわれる年度の4月1日をもって終期とすること。											
推 せ ん 基 準	下記ア～カのいずれか該当するものに○をつけてください。 ※該当する項目については、次の設問以降の該当箇所にその内容を具体的にご記入ください。										
	㊦、技能検定関連職種については、一級技能検定に合格した人又は技能検定委員の経験がある人若しくはこれと同等以上と認められる人										
	イ、全県規模以上の技能・技術協議会等において優秀な成績を収めた経験を有する人										
	㊦、永年に亘り業務に精励し、他の技能・技術者の模範と認められるとともに、産業の振興発展、勤労者の福祉の増進に寄与した人										
	㊦、表彰や感謝状を受けるなど、業界の振興発展に寄与した人										
	オ、特許又は実用新案等を有している人										
㊦、技能・技術に関する創意工夫・改善、新手法や新商品開発を積極的に行い、生産性の向上に寄与した人											
㊦、技能・技術に関して、教育訓練等を通じて、後進技能・技術者の指導育成に寄与した人											
ア 免許・資格等	技能検定合格歴	級	職 種 (作業名)				取 得 年 月				
			○○技師 ○○インストラクター資格 ○○管理者				平成15年3月 平成24年3月 令和元年4月				
技能検定委員経歴	検定名称			主催者等			就任期間(年月～年月)				
	なし										
イ 入賞歴	競技会等入賞歴	競技大会等の名称			順位		実施団体		実施年月		
		なし									

ウ・工 産業発展への貢献・功績	<p>(被表彰者候補者が他の技能・技術者の模範と認められ、産業への振興発展、勤労者の福祉の増進への貢献度が高く評価されていることについて具体的に記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年に〇〇インストラクターの資格を取得。〇〇株式会社に転職してから現在に至るまで、約 500 人の技術者の育成を行う。令和 2 年からは 令和元年からは〇〇管理者の資格を取得。これまでの経験で培ってきた知識等を活用し、業務改善等に尽力。〇〇における業務短縮を行い、社内従業員の残業時間を〇〇%減らすことに貢献。また、社内だけにとどまらず、組合内で、〇〇の改善手法について共有し、業界全体の福祉の増進に寄与している。 				
	業界表彰・感謝状の名称		表彰の事由	実施団体	受賞年月
	第〇〇回 〇〇表彰		高い技能・技術を有すると認められる	厚生労働省	令和元年 4 月
	団体 役員 歴等	団体の名称		役員名	就任期間 (年 月～年 月)
		〇〇組合		理事 副理事長 理事長	平成 25 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日 令和 2 年 4 月 1 日～現在
<p>(特に顕著な功績について、具体的に記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材育成のため、ワーキンググループを設置。これまでに約 100 人の技術者が参加。 〇〇における手法を組合内で共有、業界全体の業務時間の大幅な短縮につながった。 					
オ 実用 新案等 特許・	名称		取組内容	取組年月	
	なし				
カ 工夫・改善・考案等	<p>(技能・技術に関して、創意工夫・改善・新手法の考案などの内容について、具体的に記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年からは〇〇管理者の資格を取得。これまでの経験で培ってきた知識等を活用し、業務改善等に尽力。〇〇における業務短縮を行い、社内従業員の残業時間を〇〇%減らすことに貢献。また、社内だけにとどまらず、組合内で、〇〇の改善手法について共有し、業界全体の福祉の増進に寄与している。 全国的に普及している〇〇の使用 방법에疑問を感じ、組合や県の担当者と協議を重ねる。令和 4 年度に、厚労省に対して、〇〇の使用方法に関する提案を行い、採用され、現在では新手法が主流な方法として普及されている。 				
キ 後継者育成	<p>(被表彰候補者の後進の育成方法、対象、育成人数及び範囲について具体的に記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇〇組合において、人材育成のため、ワーキンググループを設置。これまでに約 100 人の技術者が参加。参加した 100 人のうち、8 人が〇〇インストラクターの資格を取得し、それぞれの所属で率先して人材育成を行うなど、広く効果が表れている。 指導の際には、実務を通して教えるだけでなく、そのようにした方が良い理由等について、過去の事例等を参考にしながら指導するなど、時間をかけ順序だてて教えるようにしている。 基本は 30 代以下の若手を対象としているが、業界全体の発展のために、あえて対象は絞らず指導している。 				
	指導・ 講師 歴等	指導場所(部署)	対象(人数)	指導期間	
		〇〇組合ワーキンググループ	約 100 人	平成 30 年から現在に至るまで	
ソ その他	<p>(そのほか高い技能・技術を有していることが分かる点があればご記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 23 年にわたり、〇〇師として業務に従事。〇〇課で 10 年〇〇を担当しており、これまで〇〇件の対応してきた。培ってきた経験から、非常に丁寧かつ迅速に対応ができるため、対応した方からの評価が高い。 				
推 せ ん 者 に 係 る 事 項					
団体等の名称・所在地	(名称) 〒〇〇〇-〇〇〇〇 久留米市〇〇町 3-3	照会の 場合等 の担当者	(所属) 〇〇株式会社 (氏名) 久留米 次郎 (TEL) 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 (FAX) 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇		